

新聞をより深く理解して、もっともっと読もう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。先週は、その前の週に起きた大水害の話をさせていただきました。その後、皆様は元気でお過ごしでしょうか。

「新聞を読んで読解力をつけよう」というお話は、この「開倫塾の時間」の放送で何度もしています。そこで今日は、新聞をより深く理解して、もっともっと新聞を読んでいただきたいと思い、お話をさせていただきます。

2. 新聞は、社会の問題点やどんな課題が社会にあるのかを知らせるためにあるのだと思います。これは、この CRT 栃木放送をはじめ、マスコミも同じ役割だと思います。新聞は「社会の番犬」、英語で言うと「Watchdog」、つまり見張り番であるとよく言われます。社会のここに問題があるから気をつけなさいと読者に知らせるのが、新聞の役割だと言われています。そのため新聞は、「4W 1H」、いつ・どこで・だれが・なぜ・どのようにしたのかという事実在即した報道をしています。

事件が起こると、「どこで起きたのか・だれがしたのか・なぜしたのか・いつしたのか・どのようにしたのか」を、わかりやすい表現で事実在即して報道してくれますので有難いと思います。このような報道を通じて、読者は何が問題なのかを知ることができます。そして、どうしたらよいかを考えるきっかけを読者に与えてくれます。これが、新聞の役割だと考えます。

3. また、新聞社自体が調査をして結果を報道するという調査報道もあります。ある問題に対してどう考えるのかを新聞社の立場で意見を述べるものです。意見を述べて読者に考えるきっかけを与える、これも新聞社の大きな役割です。その一番代表的なものが社説です。社説は、新聞社としての立場で意見を述べる新聞社の命綱、一番大切なものです。

皆さんは、朝日新聞や毎日新聞、読売新聞、産経新聞、下野新聞、日刊工業新聞、日本経済新聞などをお読みだと思います。それらの新聞の中には必ず社説があります。新聞社としての立場をはっきりと述べ、皆さんがどのようにお考えになるかを投げかけてくれます。ですから、ぜひお読みになっていただきたいと思います。

4. 新聞には論説やコラムもあります。論説は、新聞社の論説委員の方や新聞社から依頼された様々な方が意見を詳しく述べている欄です。わかりにくい事柄はわかりやすく解説をしたり、いろいろな考えがあることを詳しく述べたりしてくれます。私達はそれらを読んで様々な意見を知り、自分で考えるきっかけをつかむことができると思います。

また、新聞の一面の下の方にはコラムがあります。例えば、朝日新聞には「天声人語」という非常に有名なコラムがあります。毎日新聞には「余録」、読売新聞は「編集手帳」、産経新聞は「産

経抄」、下野新聞は「雷鳴抄」などです。このコラムは、新聞社で一番筆の立つ方がお書きになっていると聞きます。ぜひ皆さんもお読みになって、いろいろなものの見方があることを知り、考えていただきたいと思います。

さらに、読者のページとしては投書欄があります。新聞社が報道したことを読んで考え、読者が意見を述べる欄です。その投書を読んで、読者どうしが意見を交わすことも素晴らしいと思います。

このように、社会で起きた出来事などについての論説やコラム、投書欄などを読んで、自分の考えを固めていくことが大事だと思います。

5. さらによく読むと、もっともついろいろなページがあります。政治欄は日本だけでなく世界の政治についても書かれています。自由民主党や民主党、日本維新の会はどうか・来年のアメリカ大統領選挙はどうか・EUの統合はどうかなど、世界中の政治について触れています。経済欄も同様に、日本や世界の経済について書かれています。スポーツのコーナーでは、スポーツ担当の記者が素晴らしい記事を書いています。CRT栃木放送の高校野球の中継はもちろん、新聞のスポーツの報道も素晴らしいので、よく読んでいただきたいですね。

そのほかに文化欄や健康欄もあります。現代は高齢化社会ですので、おそらく読者の多くが高齢者であると思います。ですから、新聞社の方がかなり健康欄に注力して書いていると思います。病気の話や病気にならないためにはどうしたらよいかなどがたくさん書いてあります。よく読んでいただくと、心も身体も健やかに過ごせるのではないかと思います。

6. 夕刊を取っている方は少ないと思いますが、夕刊も読むとよいですね。私は夕刊が好きで、よく読んでいます。特に興味深いのは文化欄で、旅についての話、絵画や音楽の会合などの紹介があります。また、人生相談のコーナーを読むと、自分の悩みは大したことではないと思うこともあります。

7. 皆さんの中にはやったことがある方もいらっしゃると思いますが、新聞にはクロスワードパズルや、数独というマス目の中に1から9までの数字を入れていくパズルもあります。私は日経新聞、読売新聞、朝日新聞の数独を毎週やっています。これもなかなかおもしろいです。また、小説・俳句・短歌・詩のコーナーもありますね。産経新聞の「朝の詩^{うた}」では、柴田トヨさんがこのコーナーからデビューしました。素晴らしいことですね。そのほか、囲碁や将棋の欄もあります。

以上のように、新聞には様々な記事がありますので、できれば1日30分以上は新聞を読んで自分の気になる記事をはさみで切り取り、のりでノートに貼り付けるなどをすると素晴らしい記録になります。ぜひ実行していただきたいと思います。

8. 最後にお話するのは、新聞を読んで身に着く力についてです。私は、新聞を読んで身に着くのは「自分で考える力」だと思います。自分で考えたり、これはちょっとおかしいのではないかと批判的に考える「批判的思考能力」が身に着くのが新聞だと思います。また、新聞を毎日読むと必ず読解力が身に着きます。学力にも相関します。ですから、ぜひ学生の皆さんは新聞を読んでください。そして、ご家族の方は子どもたち新聞を読ませてもらいたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。